

福井県の公共工事設計労務単価

令和7年3月から適用とする。 福井県土木部管理課

単価名称	R7(R7.3)	R6(R6.3)	単価名称	R7(R7.3)	R6(R6.3)
特殊作業員	26,000円	24,400円	潜水士	39,400円	37,500円
普通作業員	21,300円	20,000円	潜水連絡員	30,000円	27,200円
軽作業員	16,600円	15,600円	潜水送気員	31,200円	29,700円
造園工	25,500円	23,500円	山林砂防工	29,800円	26,500円
法面工	29,100円	27,700円	軌道工	42,800円	40,600円
とび工	26,400円	25,100円	型枠工	28,500円	27,100円
石工	35,900円	34,900円	大工	28,100円	25,500円
ブロック工	31,400円	29,300円	左官	27,000円	25,700円
鉄筋工	27,800円	26,100円	配管工	25,900円	23,800円
鉄骨工	26,900円	25,600円	はつり工	30,400円	28,900円
塗装工	28,600円	27,200円	防水工	27,500円	26,100円
溶接工	31,400円	28,500円	板金工	28,300円	26,900円
特殊運転手	25,800円	24,200円	タイル工	24,700円	23,400円
一般運転手	25,500円	23,900円	サッシ工	28,300円	27,000円
潜かん工	36,900円	35,000円	内装工	30,200円	28,700円
潜かん世話役	46,200円	42,300円	ガラス工	28,100円	26,800円
さく岩工	30,500円	29,000円	建具工	28,100円	26,700円
トンネル特殊工	47,100円	43,100円	ダクト工	25,400円	23,700円
トンネル作業員	32,400円	30,800円	保温工	28,700円	26,500円
トンネル世話役	45,300円	43,000円	電工	24,600円	22,500円
橋梁特殊工	34,400円	32,800円	設備機械工	27,300円	25,500円
橋梁塗装工	33,800円	32,200円	交通誘導員A	18,200円	17,000円
橋梁世話役	42,100円	40,000円	交通誘導員B	15,800円	14,800円
土木一般世話役	28,800円	26,600円	平均値	29,865円	28,049円
高級船員	33,200円	31,000円	前年度比	6.5%	—
普通船員	26,200円	24,500円			

一生食いつばぐれない魅力のある職業！

これからの時代にこそ必要な「技術職」

これからの社会ではAIや自動化が進む中でも、人の手による技術が不可欠な分野は生き残り続けると予想されている。建設土木業界もその一つであり、機械では代替できない「職人の目」と「手仕事」が求められる現場は数多く存在する。

■定年のない一生の仕事
近年、多くの若者が将来の安定ややりがいを求めて進路を模索する中で、建設や土木の仕事が再注目されている。かつては「きつい・汚い・危険」というイメージが先行していた業界だが、現在では働き方の見直しやデジタル技術の導入が進み、労働環境も大きく改善されている。それに加えて、職人としての確かな技術を身につければ、年齢に関係なく長く働き続けられることや、安定した収入を得られる可能性も大きな魅力だ。建設土木業界で働く最大の魅力の一つは、「定年がない」という点だ。一般的な会社員であれば60代での退職が当たり前だが、建設土木業界の世界では体が動く限り働くことができ、むしろ経験を重ねた職人ほど尊重される傾向にある。特に「一人親方」として独立すれば、スケジュールや仕

事内容も自分で選べる自由度が増し、自分のペースで長く働くことができる。実際に60代、70代になっても現場で活躍している方は多く、年齢に縛られない働き方が可能だ。これにより、「将来の不安が少ない職業」としても注目されている。

■確かな技術で収入も安定
建設土木の仕事では、経験と技術がダイレクトに評価されやすく、若いうちから高収入を目指すことができる。特に、複数の技能を身に付けたり、施工管理技士や建築士などの資格を取得すれば、現場監督や責任ある立場を任せられるようになり、収入はさらにアップする。

実際、経験を積んで一人親方として独立し、取引先との信頼関係を築ければ、年収700万円以上を目指すことも十分可能だ。特に都市部では建設需要が高いため、安定的

に案件が入ってくることも多く、働き次第で年収1000万円を超えるケースもある。

また、最近では大手ゼネコンや自治体からの下請け業務も増え、フリーランスの職人でも高単価の案件を受注することが可能になってきている。若いうちからしっかりと技術を磨けば、その努力は着実に収入として返ってくる。

福井県の平均年収は約387万円。月給で換算すると32万円が相場のようなのだが、県の公共工事の労務単価は今年3月から単純平均で前年度より6・5%引き上げられ、単純平均値が2万9865円。技術を身に着け一人前に成長し、1人親方として月20日働いて50万円、年収600万円以上も夢ではない。

社会の根幹を支える職業であり、景気に左右されにくく、仕事が途切れにくい。「一生食いつばぐれない」、魅力のある職業である。